



の教室・行事予定



日	曜	教室・行事等
1	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
4	月	健康・太極拳教室 (14:00~15:30)
6	水	フォークダンス (10:00~12:00)
8	金	健康体操 (13:30~14:30) 健康教室 (14:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
9	土	詩吟 (19:00~21:00)
12	火	茶道 (13:30~15:30)
13	水	生け花 (13:30~15:30)
15	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
18	月	健康・太極拳教室 (14:00~15:30)
20	水	フォークダンス (10:00~12:00) 健康相談 (13:30~15:30)
22	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
23	土	ふれあい料理教室 (9:30~12:00) 詩吟 (19:00~21:00)
25	月	健康・太極拳教室 (14:00~15:30)
26	火	茶道 (13:30~15:30)
27	水	生け花 (13:30~15:30)

開館時間： 平日 8:30~17:00
土曜日 8:30~12:00

土曜日の午後、日曜日、国民の祝日、
年末年始(12/29~1/3)は閉館して
おります。

～毎月10日は人権を考える日～

私たちに 生きる意味があるのよ

昨年の9月に、樹木希林さんが亡くなったとき、最後の主演作「あん」を再度見たのがきっかけです。どら焼き屋で働く高齢のハンセン病療養所入所者を樹木さんが演じています。主人公の徳江さんは、小豆の言葉に耳を澄ましながらか、愛おしそうにあんを炊いていきます。あんのおいしさが評判となり、店は繁盛します。しかし、世間の無理解に押しつぶされて店を去っていった徳江さん。

どら焼き屋の店長さんと常連客の中学生の女の子は、徳江さんに会いに療養所へ向かいます。バスに揺られて二人が到着した場所は、深い緑に覆われた静かな所でした。二人の訪問を喜びながらも、語ってくれる思い出話は、哀しいものでした。「入所するとき、母が徹夜で縫ってくれた服。初めて着る新しい服を到着したその日にすべて燃やしてしまったの」。二度目に訪問した時には、徳江さんはもういませんでした。三日前に肺炎で亡くなっていたのです。呆然とする二人にポータブルプレーヤーが差し出されました。そこから聞こえるのは、「せっかく授かった子どもを産むさなくてはいけなかったこと。もしも生きていたら、店長さんと似た年頃だった。」という、徳江さんの言葉でした。

私たちに、人間としてよりよく生きる意味を伝えてくださっている本田久夫さんや磯野常二さんの姿とも重なって、涙を流しながら何度も見てしまう映画です。甘く優しい空気に包まれながら、生きていくことの強さを感じます。穏やかな流れの中で、自然とハンセン病のことや差別、そして、日本人のもつ優しさと強さと残酷さについて考えてしまう映画です。

「私たちは、この世を見るために、聞くために、生まれてきた。だとすれば、何かになれなくても、私たちに、生きる意味があるのよ」。今でも、樹木さんのセリフが、心の中を吹きわたっています。

西条市教育委員会・西条市人権教育協議会

大町会館 だより2月号

●新春🌸

人権かるた&お手玉大会



第226回 会館ミニ展示会

『水彩画 作品展』

【日程】2月13日(水)~25日(月)

【場所】大町会館 玄関ホール

【提供者】水彩画教室『タッチ』

のみなさん



一人で悩まないで、まずはお気軽にご相談ください。

ここ大町会館(隣保館)は、人と出会い、交流、つながる場です。偏見や差別、排除のない多様な生き方やこれからの社会の在り方を語り合う場です。人と人がつながり合う社会に関心がある方、何かを始めたいと思っている方、お気軽にお立ち寄りください。ご心配事、悩み事など各種相談、お申込み・お問い合わせは、**西条市大町会館(☎0897-55-5393)**まで、お気軽にご相談ください。

新春恒例行事の「新春人権かるた・お手玉大会」が1月5日(土)に行われました。

大町福寿会の皆さんと大町小・神戸小・西条南中学校の児童生徒さんが人権かるた取りやお手玉で交流しました。かるた取りでは、小学校の先生の札読みを聞きながら人権感覚を養いつつも、発熱した札の取り合いとなりました。お手玉では、福寿会の方に丁寧に教えていただき、2個揺りで競争したり、3個揺りに挑戦するなど、最初はうまくできなかった子どもだんだんと上手にできるようになり、揺り方のコツを体得することができました。地域の方々と昔ながらの遊びを通してふれあい交流しながら楽しいひとときを過ごしました。

ご参加いただいた福寿会のみなさま、ありがとうございました。

第39回人権・同和教育実践交流研修会に参加しました。

12月27日(木)、第39回人権・同和教育実践交流研修会が砥部町文化会館で開催されました。テーマは、『部落差別解消のための部落問題学習について』で、愛媛県人権教育協議会会長代行の米田孝弘先生がコーディネーターを務め、実践交流では4本の提案がありました。

1本目は、四国中央市三島東中学校の宮内寿則先生『江戸時代の身分制をどう教えるか』、2本目は、西条市立氷見小学校の白石一史先生『解放令をどう教えるか』、3本目は、宇和島市立城東中学校の藤原和憲先生『現在の部落差別をどう教えるか』、そして4本目は、愛媛県教育委員会人権教育課の内田賢一郎先生の『道徳において部落問題学習をどう進めるか』でした。

今、部落問題学習について最も必要とされる課題ばかりだったので、注目度が大変高く、参加は申込順の先着150名限定となり、会場は満杯でした。

「部落差別の起こりは」「何が差別なのか」「人権の歴史に学ぶとは」「差別された人々は差別とどのように闘ってきたのか」「なぜ、部落問題学習を重ねていくのか」など、指導者が部落問題の基本的な事柄とその指導の視点をしっかり押さえておくことが大切です。

民衆の中にあつた穢れ意識を利用して差別が強化されたという民衆の差別性が大前提であること、「解放令」のもつ歴史的意義やねらい、部落問題は遠い過去のこと、他人事ではなく、今の自分の生き方にかかわる問題であることを子どもたちにどのように理解させるかが何より重要であると思います。

差別とは、人と人の温かい関係を断ち切ってしまうことであり、反対に差別をなくすということは人と人の温かい人間関係を築くということであり、『集まる、出会う、行動する、体験する』

ことによって、顔が見える関係で人と人をつなぐ・つながる隣保館として、人間関係をつないでいきたいと思いました。



神戸コスモス子ども会で新春書初めをしました！

1月5日(土)、神戸コスモス子ども会では、新春書初めをしました。毛筆での条幅紙の書初めは初めての体験だったけど、小学校の先生方に優しく教えていただきながら、3年生は「美しい心」6年生は「新たな決意」を書きました。

2019年、新しい年のいいスタートがきれました。

ご指導いただいた小学校の先生方、ありがとうございました。



ご

あ

ん

な

い

第3回 健康教室

【日時】2月8日(金)

14:30~15:30

【場所】大町会館2階大会議室

【講師】老人保健施設いしづち苑主任代理
介護福祉士 高津 智一 先生

【内容】認知症の介護について
～在宅介護及び施設介護～



事前申込みは不要です。
どなたでも参加OKですので、
お気軽にお越しください。

第5回ふれあい料理教室

【日時】2月23日(土)

9:30~12:00

【場所】大町会館 1階調理室

【講師】高木 俊江 先生

【内容】春の献立(予定)

【費用】200円

【定員】10名(先着順)

【申込】大町会館(55-5393)
までお申し込みください。

